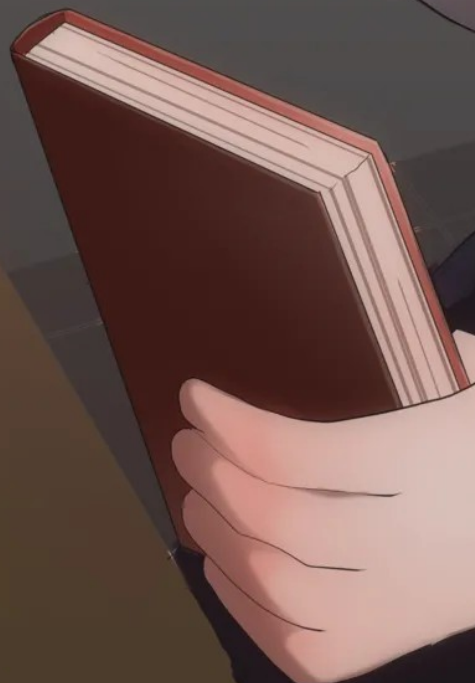


僕が知らない
君の顔

ぼくが知らないきみのかお

十八禁



すみませーん

図書室

この本
借りたいんですけど…

…はい…
返却期限は…
一週間後です…

あっ
はい…

…

暗っ!!

誰あの子一年?

一年じゃない?
私も初めて見たし

詩織さんは
三年生だ
覚えておけ

まあでも詩織さんは
人と話すのが
得意じゃないから
知らないのも無理はない

七瀬 詩織
高校三年生

でも
僕だけは知っている
詩織さんは…

実は滅茶苦茶
可愛いということを



面白い小説を
読んでいるとき

ふと少し
微笑むところ

僕の授業が遅くなると

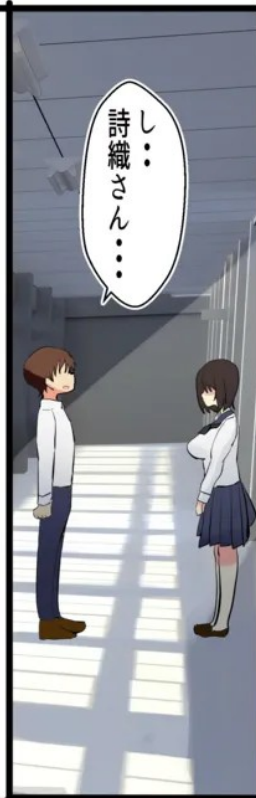
教室の外でいつも
僕を待っていてくれる
ところ



詩織さんと
図書委員で
いられるだけで
幸せ・・・



だけど
僕は
それ以上を
手に入れたくて・・・



し...
詩織さん...



好きです

ぼっ...
僕とお付き合い
して下さいっ...!!



ああ...
言ってしまった...っ
一年間秘めてた思い...
もう戻れないっ...

ブクッ
ブクッ



え...
えと...



え...?

ブキ



私も……
直樹君が好き……

ハァ
アァ
アァ



わっ……
わたし本を
読むぐらいしか……
趣味がないし

女の子らしいことは
何一つ……
でも……



うん……

た……
退屈じゃない？
大丈夫？

あの……
直樹君……
ん？



初デート……
カフェで良かった？

うん……



そんな幸せな日常を
切り裂くように……
あいつが現れた……



ー好きだー
直樹君
コーヒー……コーヒー……



私付き合おうのって
初めてで……
その……
何かしてほしいこと
あったら
何でも言ってね……

チラシ



と：図書室では
静かに...

あ？

なんだおめー



陰キヤは
黙って...



あー涼しいー

こりや
いいサボり場
発見だわー

2組の杉山.....!
なんでこんなヤンキーが
図書室に.....っ



ふうん...



...

ゼッ
ツ

~~~~~



いやー  
助かったわ詩織ちゃん

ぎりぎり  
売り切れる前で  
助かったぜ

ホッ  
良かった……  
何もなく……

あいつはあまり  
いいうわさ聞かないから  
何かあったらすぐ  
電話してね……っ！

直樹君……  
やさしい……

あつ  
そうだ  
忘れ物忘れ物

サー

っ？

カ

ニヤ

え……

え……



だめだめ  
詩織ちゃんとの  
大事な思い出だから

やっ

やめてくださいっ

バツ



おーよく  
撮れてんな

この写真さあ...



あいつに自慢して  
いい?



まあ...



俺のお願いを  
聞いてくれんなら

考えてやんねー  
こともねーけど...

ゼクッ

詩織ちゃん  
めっちゃ  
緊張してんじゃん

もしかして  
ラブホ初めて？

し：  
知らないです...

まさか...  
こんなことになるなんて...

びくっ  
むいっ

詩織ちゃん  
こっちみてみ？

え...？

これから俺らがやること

全部録画  
しちゃいます



いやっ

やだ...っ  
止めてください...っ

大丈夫大丈夫  
慣れれば  
気にならないから

はいおっぱい  
御開帳

うおっ  
超巨乳

エロ乳首  
気持ちよくしてやるっ

ぶる..

あん





乳首を  
引っ張る!!

あはは  
すっげえビクビク  
してる

びりっ  
びりっ



こーやって  
胸をこねくり  
回して

んっ  
んっ  
んっ

ほら  
みてみるよ  
自分の顔



ふえ...



ち...ちが...

詩織ちゃんは見られて感じる  
ドマゾなんだよ



私...  
なんて顔...

すっげえエロい顔  
してんぜ



じゃあ乳首  
アクメ決めて  
証明させてやるよ

びりっ  
びりっ  
びりっ

びりっ  
びりっ  
びりっ



くく  
このエロ女

本当に乳首だけで  
イキやがった



適当に一発  
やって捨てよう  
と思ったけど

やっぱ  
辞めだ

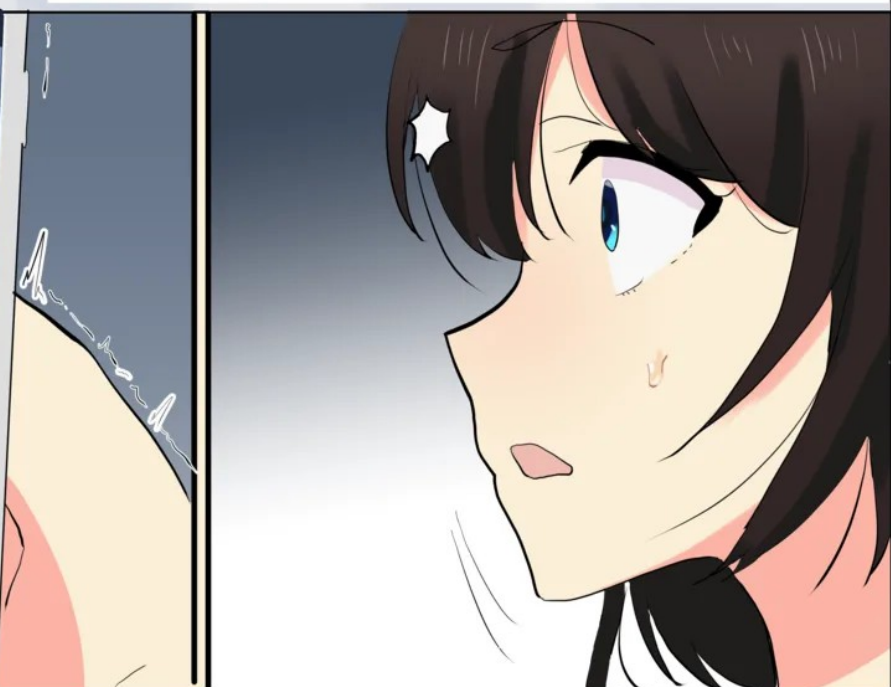
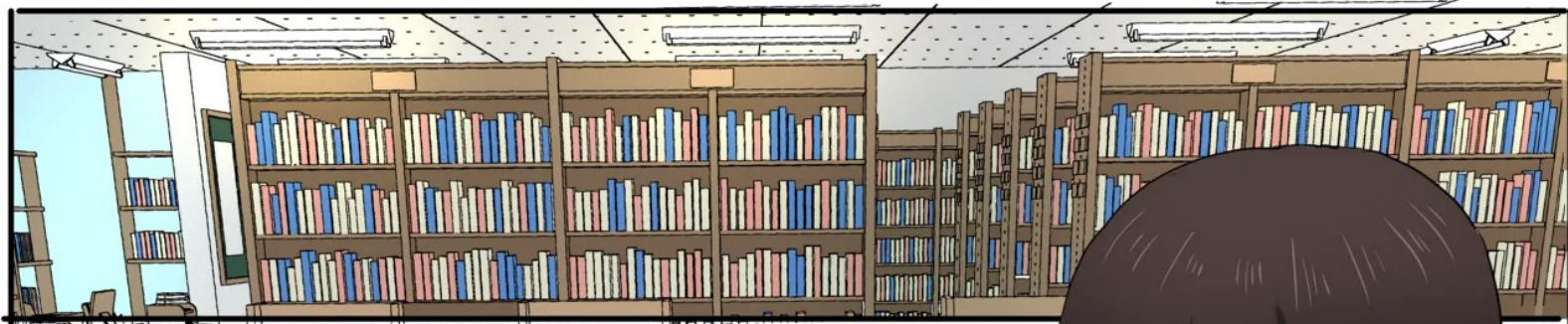


お前は俺が  
徹底的に調教して

俺専用の  
肉奴隷に  
堕としてやる

覚悟しとけよ...  
くくく...





ひどい……  
昨日だけって  
言ったのに……

ドッ

ドッ

これ以上  
直樹君を裏切るなら……

そうだ  
放課後

詩織さんが  
行きたがってた  
ブックカフェ行こうよ

奢るし！

今日は夜  
家族で外食なんだ

だから……  
また今度行こ？

私：直樹君には  
嫌われたくない……

ごめん……



おー  
きたきた

って！  
おっ

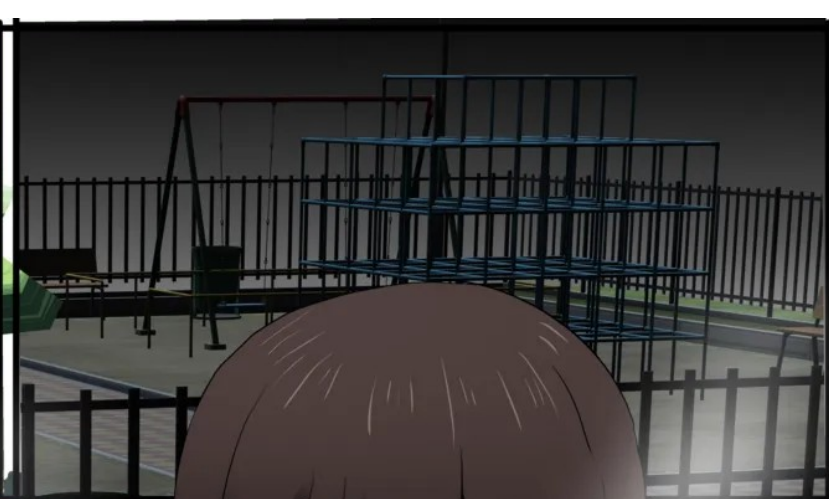


とか  
いつてよお...

きやつ

ビュッ

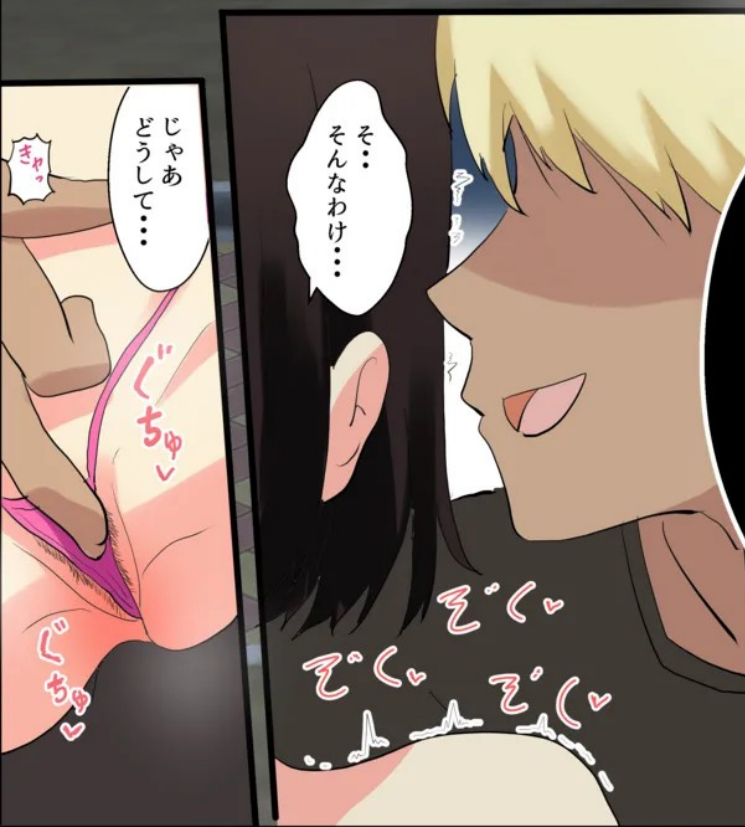
ぐいっ



ハッ

本当にその  
エロ下着くるととか：  
お前変態すぎ

こ...これは  
あなたが着てこいつて...



そ...  
そんなわけ...

じゃあ  
どうして...

本当は興奮してんだろ  
お前

ぞく  
ぞく  
ぞく

ぐちゅ  
ぐちゅ

詩織ちゃんの  
オマンコはこんなに  
濡れてるのかな？

これは  
ちがう……

ちがくねーよ

お前は公園で  
エロ下着露出して  
マンコ濡らす  
変態なんだよ

私：  
そんな変態じゃ……

ほら  
みてみるよ

ふえ？

嘘……  
見られてる……  
知らない人に……

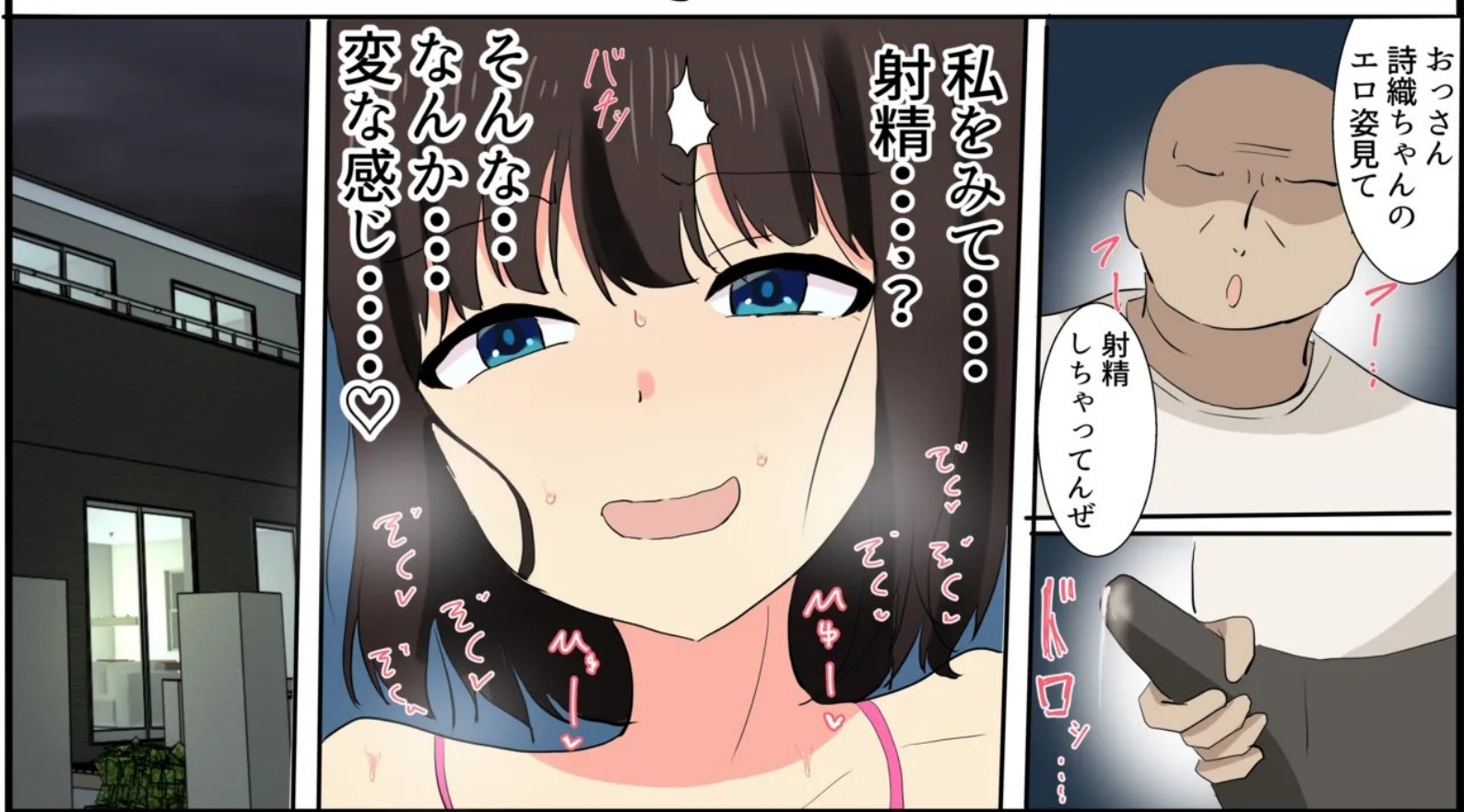
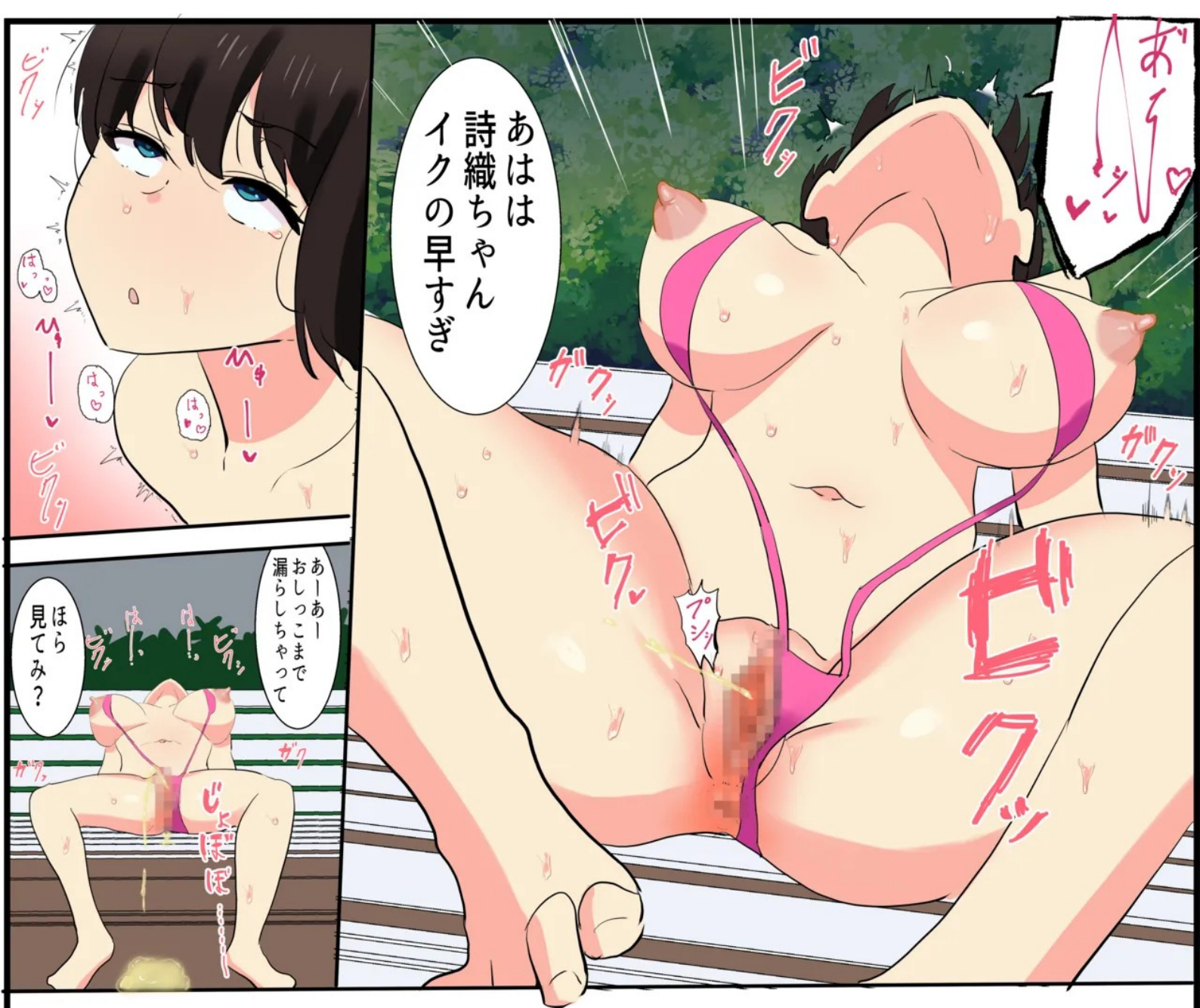
せっかくだから  
詩織ちゃんの  
アクメ姿

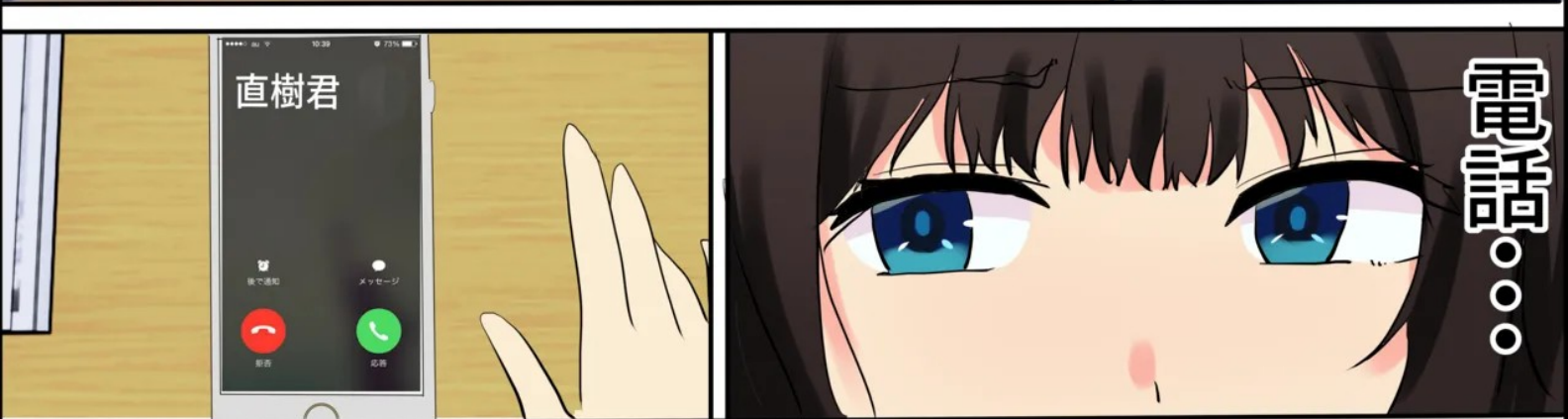
あのおっさんに  
見せてやるーぜ

おっさんが  
詩織ちゃんみて  
シコってるぜ

お前がエロい  
変態女だからだよ

しかも  
あの  
握ってるの……





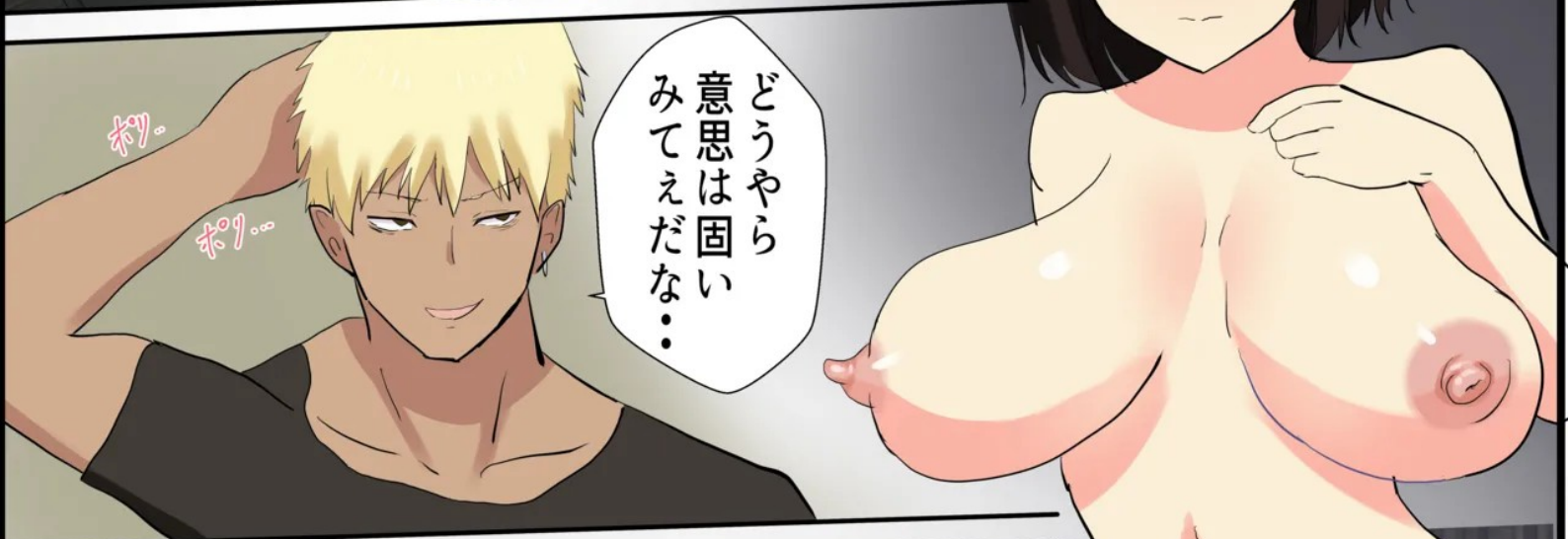


はい

今日で  
最後にしてほしい？

ふーん

キシ



ホッ

ホッ

どうやら  
意思は固い  
みてえだな...



はい

あと、今日は直樹君と  
デートなので

早く済ませて  
ください



っ!?

詩織ちゃん♪

最後のセックス  
存分に楽しもうぜ

ブルン

セックス



ちっ  
つれなえなあ

まあいいや

カチャ

カチャ



私の中にこんな  
大きなオチンポ……

好きな人に……  
直樹君に捧げるはずだった……  
私の初めてが……

んっ……  
大き……いっ

んだよ  
さっさと挿れろ……

グググ……グ

ズリ

よっ

いぎ

一気にきたあ……っ

奥まで○○○

ぞくぞく

ぞくぞく

ぞくぞく

ぞく

おは

おは

おは

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく

ぞく



あ、  
詩織ちゃんの  
膣内きもちよすぎ



奥かき回されるの  
気持ちいだろ



うわ  
めっちゃ締まる  
詩織ちゃん  
感じすぎでしょ





おおおお

駄目、にっいた

ううう

ハ

ハ

ハ

ハ





久しぶりだなあ  
詩織さんとの  
デート

最近はずかしい  
みたいで  
あんまり会えなかった  
からなあ：



もっと色んな  
ところに遊びに行つて

笑った顔も  
怒った顔も  
詩織さんとの思い出を  
作っていこう



詩織さんも  
最近笑つてくれるように  
なったなあ……



そうだ  
僕は詩織さんの  
彼氏なんだ



あいつが見たら  
泣くぞ

てか  
ひつでえ顔  
だな笑



よし  
ピースしろ



今日から  
てめーは  
俺のセフレだ

今後  
図書室行くの禁止な  
徹底的に調教してやるから  
覚悟しとけ

詩織



僕が知らない  
君の顔

ぼくが知らないきみのかお

十八禁

